

平成29年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	農林まつり負担金(農林まつり)				
担当課	農政課		課長名	相馬 真美	
事業の目的と実施内容					
目的	町民等を対象に町内で生産される農林畜産物等を紹介し、消費拡大を促すとともに、町の緑の生活環境の向上と緑化思想の高揚を図る。				
内容・方法	町内産農林畜産物の即売をはじめ、農林業を身近に感じ、楽しめる啓発事業として、木工教室、春の草花・種子のプレゼント、来場されたお客様が自ら楽しめる米のすくい取りや、ゴーヤを育ててグリーンカーテンを作る講習会のほか、地元特産品の抽選会、ステージイベントを実施し、町内の農業について宣伝に努める。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	現状維持	一次	改善	二次	-
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
平成27年度以降、費用が増加しているが来場者が増加していないことから、来場者の増加に向けた方策を講じるべきである。			ポスターや町広報などの従来のPRに加え、商工観光課と連携して、観光関係団体のホームページで周知を図るなど、PRを強化する。また、来場者の増加に向けてステージイベントの内容について工夫する。		
町の最終方針					
改善	商工観光課や関係団体と連携してPRを強化することに加え、実施内容を工夫することにより、来場者の増加に努める。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名		時期(期限)	具体的な改善等の内容		
関係団体等とのPRについての調整		H30.3	商工観光課や関係団体と連携して農林まつりのPRについて調整する		
農林まつりの実施内容について検討		H30.1～3	実施内容について検討する		
農林まつり実行委員会にて報告		H30.4	検討した内容を実行委員会にて報告		
農林まつりの実施		H30.5	改善した内容にて実施		
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一		単位	基準年度 (H29)	H30	H31
来場者数		人	12,000	13,000	13,000
目標とする成果の設定理由		来場者数がイベントの盛況度の判断基準となるため			
4 経費等の見込み					
			H29(決算見込)	H30	H31
事業費(予算) 単位:千円			688	688	688
概算職員数 単位:人			0.224	0.224	0.224

[illegible]